

～安全・安心で活気あふれるまちづくりを目指して～

賀露のまちづくりアンケート調査結果

【表紙記載事項（参考）】

賀露町にお住まいの皆様へ

賀露地区では、地域みんなで助け合い、安心・安全で活力のあるまちづくりを目指して、平成21年9月13日に「賀露まちづくり協議会」を設立し、現在「地域コミュニティ計画」策定に向けた取り組みを進めています。

「地域コミュニティ計画」って？

賀露地区の将来目標（どんな地域にしていきたいかという「まちづくりの目標」）を定め、その目標に向かって活動していきたいと考えています。この計画には、賀露地区にお住まいの皆さん一人ひとりの意見を反映することが大切です。

また、この計画に沿って、目標を実現するための活動を地域ぐるみで取り組むことが大切です。

「アンケート」を実施します！

「地域コミュニティ計画」を策定するにあたり、地域の皆さんのご意見をうかがいます。アンケート調査にご協力をお願いします。

＜アンケート対象＞

賀露町自治会に加入されている世帯を対象としています。ご家族で相談の上ご記入ください。

＜アンケートの設問や内容が難しかったら…＞

アンケートの設問や内容がわからなかったり、難しいところがあれば、わかる範囲でご回答ください。
(むやみに〇をいれたりしないで、無回答にしてください)

＜アンケートの回収方法＞

配布されたアンケートは、配布後1週間以内にご記入をお願いします。

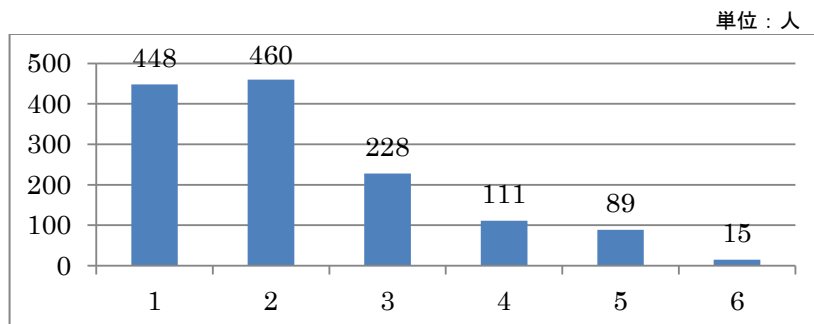
ご記入いただいたアンケートは、配布した封筒に入れて提出してください。(封筒は無記名で、ホッチキス止めでも結構です。)

＜その他＞

アンケートの内容等についてお問い合わせをされる場合は、賀露地区公民館（事務局）までご連絡ください。

[町内会連絡事項]

【回答】



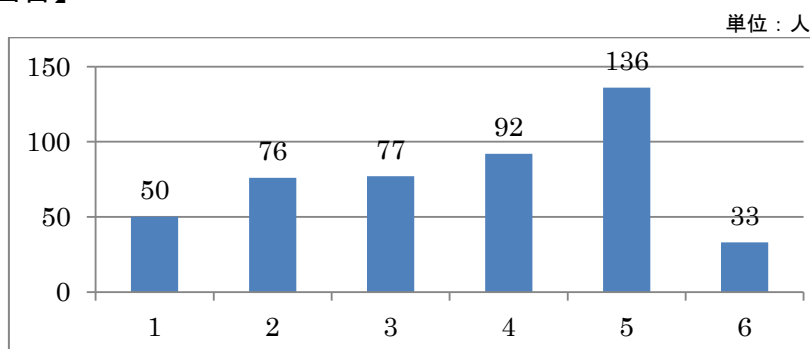
【考察】

住みやすいと答えた中では、自然環境、生活環境に関する評価が高かった。このことから、環境面での良好な状態を維持することが一番求められていると考える。逆に地域の活力に関する評価が少ないことから、個々の世帯が暮らしていく中で良好な環境を求めており、地域的な活力については、優先度が低いとも考えられる。

問4 住みにくい理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 人のつながりが希薄である
- 2 ルールやマナーが守られない
- 3 近所付き合いなど地域の付き合いが煩わしい
- 4 買い物など生活上不便
- 5 悪臭・騒音など生活環境がよくない
- 6 その他 ()

【回答】



【考察】

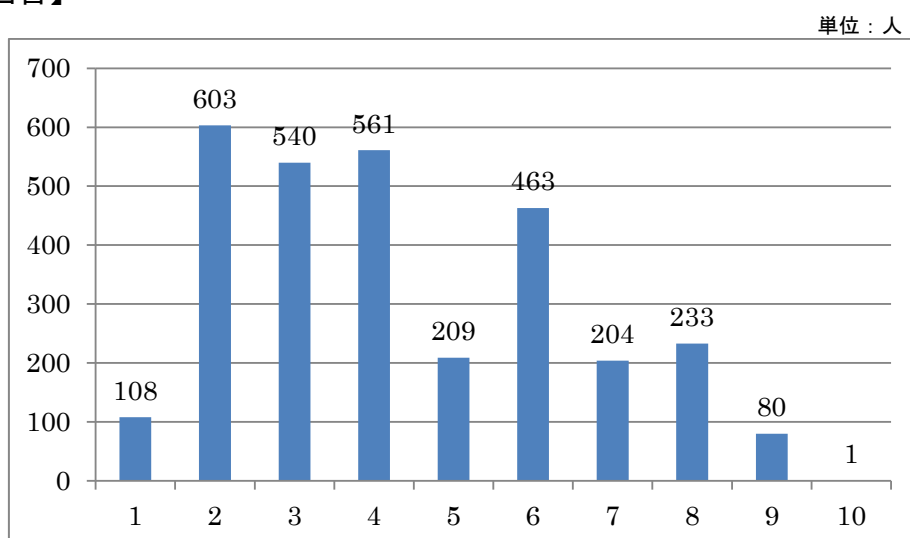
住みにくい理由として、全体の中で多いのは悪臭・騒音などの環境についてとなっており、問3との関係も含めて、環境整備について求められている。特に、悪臭対策については、住民の求める最優先課題と言える。続いて、買い物などの生活上の不便があげられる。比較的近い位置にイオンがありながら、不便を感じていることから、高齢化により、交通手段を持たなくて買い物に行けないいわゆる買い物難民が賀露地区にも発生していることが想定される。

また、区によっては住みにくさの理由にあげている項目の順位に差があるため、区ごとの課題があると考えられる。

問5 これからの賀露地区はどのようなまちの実現を目指すべきだとお考えですか。
(主なものを3項目選んで○を付けてください。)

- 1 キラリと輝く特徴をもったまち
- 2 良好な生活環境が整った住みよいまち
- 3 高齢者や子ども、障がいのある人たちを大切にする福祉のまち
- 4 地震、津波、台風などの災害に強い防災のまち
- 5 道路や公共交通機関、交通などの機能を活かした活力のあるまち
- 6 日本海の自然景観を活かした憩いと潤いのあるまち
- 7 商業施設が整備され賑やかで買い物が便利なまち
- 8 学校教育・生涯学習が充実した教育と文化のまち
- 9 地域ぐるみのスポーツが盛んなまち
- 10 その他 ()

【回答】



【考察】

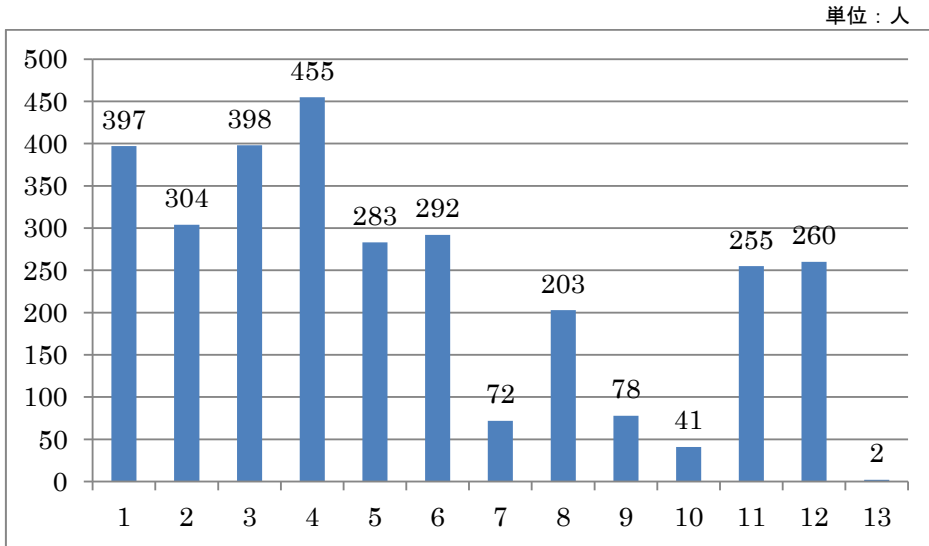
ここにおいても、生活環境、自然環境の整備を求める意識が高いことを伺わせる。その他に高齢化が進んでいることから、福祉施策を求めている。反対にスポーツの振興やキラリと輝く特徴を求める声は少ない。スポーツについては、高齢化が進み、参加者が少ない中で、一部の者に負担感がかかっていることが想定される。また、特徴的なまちづくりよりも、住環境や自然環境の整備を求める声が高いと考えられる。

問6 快適で住みよいまちづくりのために、取り組む課題は何ですか。
(主なものを3項目を選んで○を付けてください。)

- 1 交通安全対策や防犯対策の充実
- 2 自然環境の保全・創造
- 3 災害時要援護者支援体制づくりや防災対策の充実
- 4 悪臭対策の防止対策の改善やごみ収集等環境衛生対策の充実
- 5 障がい者や高齢者施設の充実
- 6 子育て支援や青少年の健全育成
- 7 スポーツの振興、生涯学習の充実
- 8 地域コミュニティの育成

- 9 協働によるまちづくり体制の強化
- 10 男女共同参画推進施策の強化と人権尊重のまちづくりの推進
- 11 公共交通機関の利便性向上
- 12 道路・公共下水道・公園・緑地などの環境整備
- 13 その他 ()

【回答】



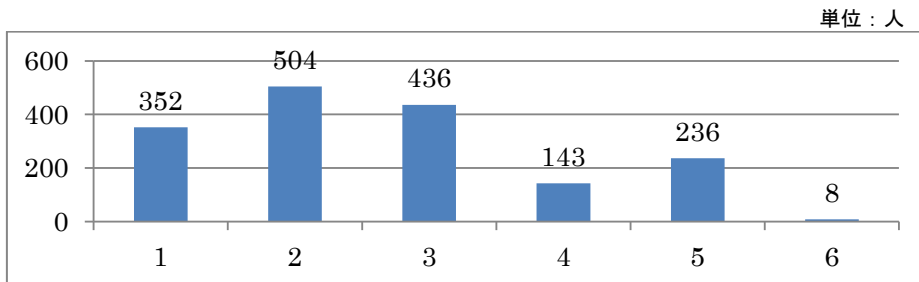
【考察】

ここでも悪臭に関する課題が一番と捉えられている。災害時の要援護者に対する支援体制が整っていないと感じている者も多い。高齢者世帯に対する支援を具体的に示すことが必要と考える。反対に、ここでもスポーツの振興、生涯学習の充実については課題と捉えていない人が多く、問5との関連で充実しているとの捉え方をしているように思われる。

問7 賀露町のまちづくりには、人と人のつながりが大切だと考えています。そのためには、具体的にどのような活動を行えば良いと思いますか。(複数回答可)

- 1 清掃作業などのボランティア活動
- 2 世代間交流の各種事業
- 3 祭りや文化伝承芸能の育成
- 4 スポーツ大会の開催
- 5 公民館活動の参加
- 6 その他 ()

【回答】



【考察】

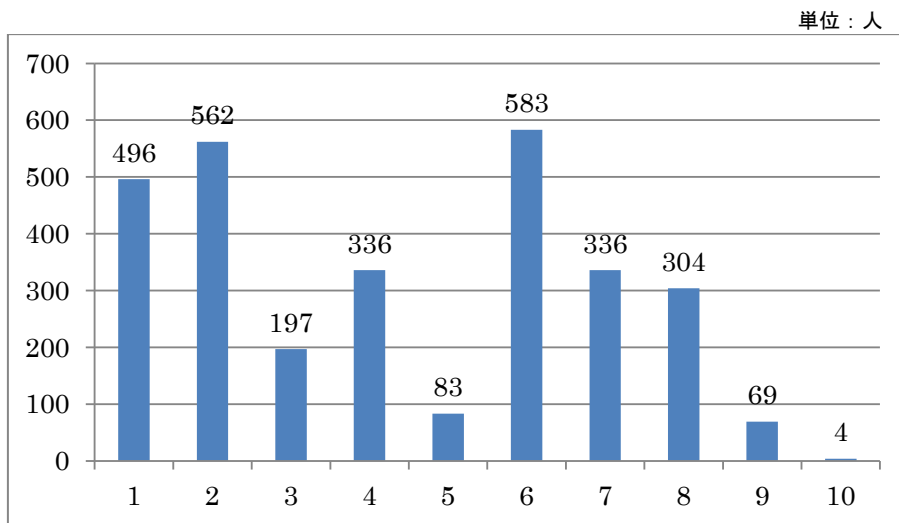
世代間交流、祭りや文化伝承芸能に関する意識が高い。賀露の祭りは、子どもから高齢者まで参加する賀露地区の象徴的な事業であり、これからも伝えていくべきものの中でも一番優先すべきものと考えられる。

問8 賀露地区の防災・防犯・交通安全体制及び活動については、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(主な3項目を選んで○を付ける。)

- 1 子どもや高齢者の交通事故防止
- 2 子どもたちが安心して通学できる環境づくり
- 3 自主防災会の体制の充実
- 4 防犯・防災意識の啓発活動
- 5 振り込め詐欺に会わないための啓発活動
- 6 災害時の情報連絡体制の充実
- 7 災害時における要援護者支援体制の整備充実
- 8 交通ルールやマナーを守る啓発活動
- 9 賀露消防団の団員確保のための啓発活動

【回答】



【考察】

災害時に情報連絡に続き、子ども、高齢者に関する課題に関心が高い。賀露地区では、通学時の安全確保について、地域での取り組みが充実しているように感じるが、通学路の歩車道分離が十分ではなく、子どもたちのすぐ脇を車が通行することも毎朝生じている。また、振り込め詐欺や消防団の団員確保について意識が低い。火災等の災害が近年町内で生じていないなど、身近に感じられる機会が少ないためかと思われるが、いざというときには常備消防だけでカバーできるものではなく、重要性や活動内容などを伝える広報の充実が必要である。振り込め詐欺についても同様。

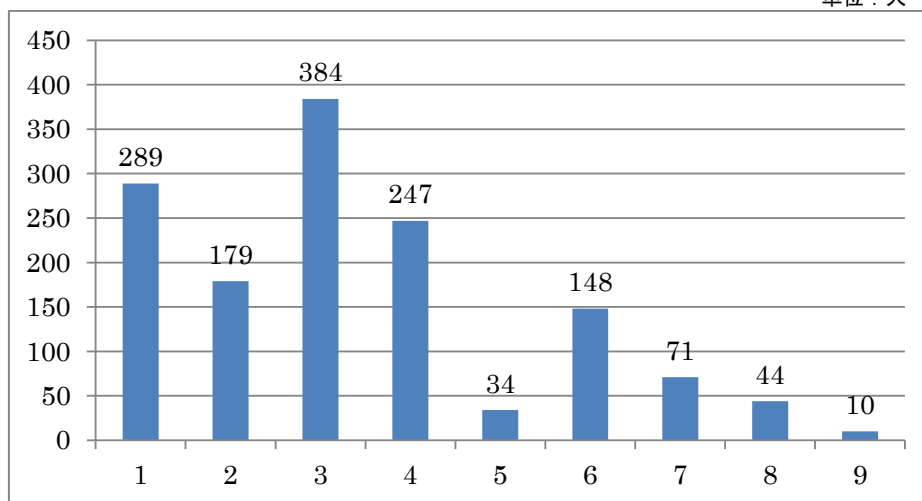
問9 安心して暮らせるまちづくりのためには人権を守る活動は大切ですが、賀露地区ではどのような課題があると思いますか。

(複数回答可)

- 1 子どもの人権
- 2 男女差別
- 3 高齢者の人権
- 4 障がい者の人権
- 5 外国人の人権
- 6 職業差別
- 7 同和問題
- 8 インターネット上での人権
- 9 その他 ()

【回答】

単位：人



【考察】

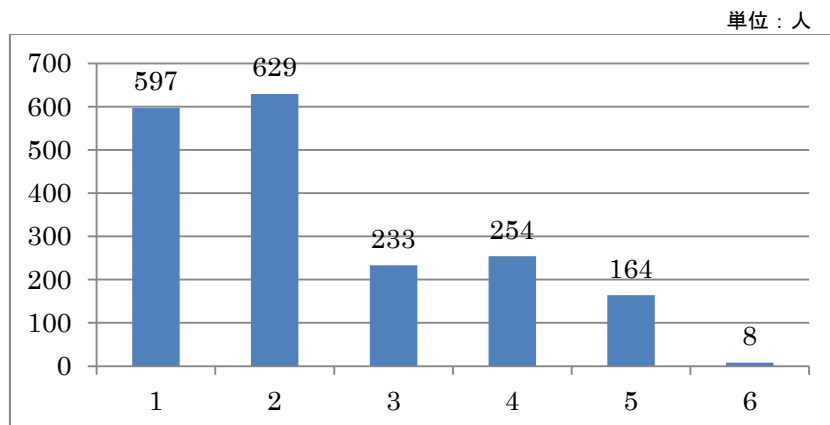
ここでも、高齢者、子どもに関する意識が高く、続いて障がい者への人権と続く。ただし、区によっては男女の人権に関する意識が高い所もあり、区ごとの意識の違いもみられる。区の中の世帯の構成（高齢者が多い、子どもが多いなど）により関心が違うので留意する必要がある。

問10 人権意識を身につけるために、何が有効と思いますか。

(複数回答可)

- 1 学校での教育
- 2 家庭での教育
- 3 地域の人権啓発推進組織の活動
- 4 町内会等小地域で実施する啓発活動
- 5 行政による啓発活動
- 6 その他 ()

【回答】



【考察】

家庭や学校に依存する意識が強く、地域での取り組みに消極的である。身近な事例から掘り起こしていくことが求められる。

問 1 1 公民館では、地域の人たちの交流の場として様々な企画に取り組んでいます。賀露地区公民館の施設・活動内容について、あなたのご要望やご意見をお聞かせ下さい。

- 1 施設面で更に充実して欲しいものがあればご記入下さい。

【回答】（施設面）

高齢者・障がい者対応策（エレベーター・手摺・スロープ・バリアフリー・多目的トイレ）
大災害時、住民避難場所としての機能を備えた施設
公民館の建替え、改築

- 2 公民館は地域の方々のニーズを活かした魅力ある事業の実施が求められています。あなたが希望される事業について具体的にお聞かせ下さい。

【回答】（希望される事業）

高齢者向け事業・世代間交流事業（こども世代と大人が楽しめる交流会）
男性が参加しやすい事業・託児付教室・20～30才代向け事業
文化講演会・趣味の講座・年間行事のマンネリ化
休日に参加できる事業

3 その他公民館の運営について、お気づきのことをお聞かせ下さい。

【回答】（運営について）

公民館活動の情報発信、広報活動の充実
市役所の出先機関としての活動

【考察】

施設面では、高齢者や障がい者の方が利用しやすい環境を整えることが求められている。避難場所としての機能も求められ、町民の防災の意識の高さが伺える。また、公民館立地場所が高台にあることから不便を感じる方も多く、今後、来館方法（交通手段）について考えていくことが新たな課題である。

事業面では、幅広い年齢層の参加・世代間交流できる事業が求められており、若者や男性の参加しやすい事業また託児付事業などが求められている。既存の利用者の枠にとらわれず、誰でも気楽に参加することができる配慮が必要と考える。

運営面については、公民館活動の内容や公民館の利用方法について周知不十分という意見が多い。ホームページに利用方法や活動状況が公開されているが、住民のホームページ利用が低い結果となっており、幅広い周知活動が望まれる。

運営内容については、公民館利用者からは評価されている意見もあるが、利用されていない方との認識の違いがかなりあるように思われる。また、少数だが行政の窓口としての機能を求める声もあり、公民館に期待するものが多様化しているようだ。

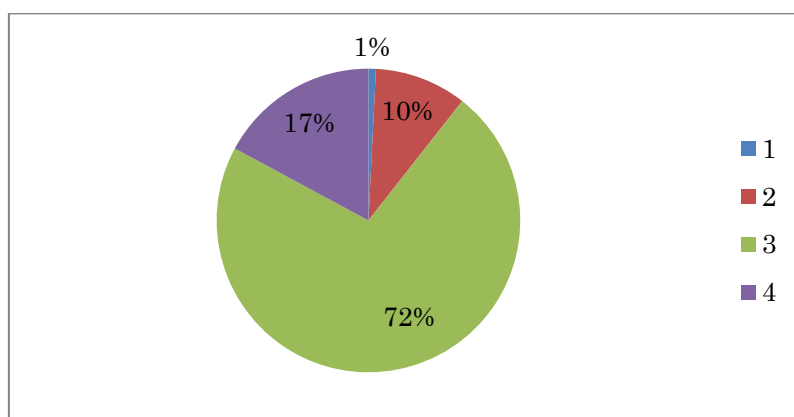
賀露町民の要望や将来の人口比率を見据え、公民館の役割や事業内容の見直しを図り、魅力ある活動を展開していくことが今後の課題である。

問12 賀露地区では、「賀露地区公民館ホームページ」を開設し、公民館活動の情報を発信しています。あなたの利用状況をお聞かせ下さい。

（ホームページアドレス <http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/karo-1/>）

- 1 よく利用する
- 2 ときどき利用する
- 3 利用しない
- 4 関心がない

【回答】



【考察】

賀露地区住民のインターネット環境の普及状況などを把握する必要があるが、高齢者世帯が多いことから、ホームページの活用は低いと考えられる。重要な事項や予め周知が必要な事項は、回覧等の方式が適当と考える。

各団体の活動紹介や、行事予定、事務連絡の手段として活用していくことも視野に入れ、広報としての手段以外の使い方も工夫が求められる。

問13 その他ご意見などありましたらご自由にお書き下さい。

{ }

※ご協力ありがとうございました。

【考察】

賀露町は、古くから漁業により栄えてきた町であり、第1次産業が主流であったが、今では給与所得により生計を立てている人が大半となっている。このことにより、付き合いの意識の比重が近所から職場などを中心とした外部のものへと変化していると考えられる。業種や勤務体系も多様化していることから、土日祝日が休日という原則が当てはまらない人も増え、地域全体に及ぶ行事などを回数多く取り組むことが難しくなっており、地域づくりに結びつく活動への参加者の固定化を招いている。また、1世帯当たりの人数構成がすくなくなっていることもあり、世代間のつながりが希薄になっていることも伺える。区ごとの人数や世帯の構成、居住エリアの違いにより、各設問への解答内容も異なっており、留意する必要がある。